

NPO法人ありんこに
関する詳しい情報は
公式ホームページ
arinnko.sakura.ne.jp
にて公開中！！

ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部
編集責任者 一戸 由佳
住所 青森県弘前市大字富栄
字笹崎80-1
電話 0172-96-2774
Fax 0172-55-9591

NPO法人ありんこ 第6回定期総会が無事に終了しました

平成30年5月20日(日) 午前10時30分から、NPO法人ありんこ第6回定期総会が開催されました。

当日は天気も良く、例年通り、議案の審議が滞りなく行われ、全ての議案について全会一致で承認されました。

議案については以下の通りです。

- 1 平成29年度活動、事業報告及び審議
- 2 平成29年度収支報告並びに監事監査報告及び審議
- 3 平成30年度活動、事業、収支予算案審議
- 4 定款の変更に関する審議



定期総会の承認を受けて、青森県に平成29年度の事業報告や会計監査報告などを行う必要があります。報告の結果は、内閣府のNPO法人ポータルサイトや青森県のNPO法人の総合案内サイトで、閲覧することができます。

総会の中で、話題になったのが、有償運送の資金調達についてでした。現在の料金設定は、保護者にとって、毎日の通学に対して支払えるぎりぎりの、決して安い金額ではないこと。それに対して旅客運送業の立場から見ると、概ねタクシー料金の半分という望ましい数字に対して3分の1以下の料金になっており、安すぎるという指摘が出ていること。

継続のためには何か策を講じなければならないが、例えば流行りのクラウドファンディングなどで、通学支援の資金を集めて運営ができないか、というものでした。

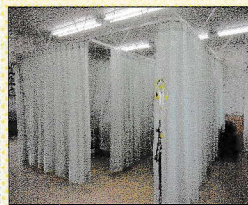
クラウドファンディングについては、いろいろな成功例があるものの、これから少し勉強して、検討していきたいということで今回は終了しました。

学校への送迎支援を継続できるように、検討を重ねていきます。

病児室にカーテンが



学年が上がって、制服で下校してくる子どもたちも増え、パーティションで区切った狭い空間で更衣をするのはなかなか大変でした。また、体調不良でベッドに横になる際にも、最低限のプライバシーは守られなければなりません。このたび、職員がいろいろと知恵を絞り、多目的に使用できる様に配置を工夫してカーテンが設置されました。いちのへ耳鼻科院長からの寄贈です。



ありんこまつりの際にはおむつ交換等にもどんどん活用していきたいと思っています。来所の際にはぜひご覧ください。

ありんこまつりボランティア募集

引きつづき、ボランティアを募集します。

ありんこまつり当日、販売や縁日等のお手伝いをしていただくボランティアスタッフを募集します。お手伝いいただける方は、詳細についてお知らせいたしますので、ご連絡ください。

連絡先:0172-96-2774

児童デイサービスやよいのあかり
ありんこまつり 担当 藤田

理事長のつぶやき

その時何ができるか

病院での臨地実習が始まった。まだ1週間目であるが、正直1年生の時と違って全く余裕がない。

今年は2年目だから、当たり前のことだが、周囲は私たちを1年間勉強してきた者として扱う。分かっているが当然と接する。だから、こちらから質問するにも勇気がいる。けれども、今、この実習中に学ばなければ、来年には「学生」という「免罪符」を手放して、資格のある人間として働かなければならぬのである。

病棟では様々な職種の人が働いている。「多職種連携」である。その中で、今の自分に何ができるか、日々考えながら過ごしている。

考えてみれば、誰にでも新人時代はあり、誰にでも初体験はある。

資格を持って働き始めたとしても、経験不足は、頼りなさとか自信のなさにつながり、自分の役割を把握して行動するのはなかなか難しいだろう。

だからこそ、自信を持って働けるように、「今」を大切にしなければならない。

「その時、何ができるか」は、つまり、「今、何をしているか、何を学んでいるか。」なのだ。

来るべき「その時」のために 学べることへの感謝を忘れず、10月までの長い実習を、意欲的に頑張っていきたいと思う。

気持ちはある。が、体力の低下は著しく、思う様に勉強が進まないことの方が多い昨今である。



お知らせ・掲示板

第7回ありんこまつり

現在準備が進められているありんこまつり。今年も「やよあかカンタービレ」のミニコンサートや、南米音楽のfolkloreをお楽しみいただくと思っています。

また、昨年好評だった、大ビンゴ大会は、今年も有料で行いますので、ぜひご参加ください。

ありんこで栽培しているひまわりの苗の頒布も行います。今年はやよあかの子どもたちにポットカバーを作ってもらいました。限定25鉢を用意する予定ですので、購入をご希望の方は、祭り当日、特設販売ブースでお早めにお買い求めください。

声のコーナー

娘の車椅子が新しくなりました。それをやよあかさんにお伝えし、以前のもより一回りは大きくなっているので、今まで送迎に使用していた車両に乗れるか心配していました。数日後、「大丈夫でしたよ。」といったもの送られてきた娘。職員さんの「おりるよー。」の声に、頭をひょいとかがめて、リフトの動きに合わせて上手に車外へ。環境を障害に合わせるのが合理的配慮ではあるけれど、本人の、今ある環境への適応力を育むのも大切だと感じました。 中3 Yの母